



COVID-19の病態についても多くの知見が集積しつつありますが、まだまだ、わからないこともたくさんあります。COVID-19のパンデミックは始まったばかりで、手探り状態で対策を行ってきておりますが、これまでのところ、急性期には一定の割合で重症者がでますので、地域の医療体制を圧迫し、他の疾患の医療への影響もあります。また、わかっている範囲内では、後遺症の存在も明確になりつつあり、急性期には軽症であっても、感染者が増えれば、一定の割合で後遺症を残す方も増加すると思わ

れます。これらを考えると、やはり感染者を増やさないように対策を続けていく以外に方法はありません。その昔、「一番じゃ無いといけないんですか。二番じゃダメなんですか」というお話がありましたが、一番を目指していくからこそ、二番にもなれるわけで、最初から二番を目指していたら、何番になるかはわかりません。患者さんを増やさないようにという目標でこれまでやってきましたが、患者をゼロにしていこうと目指さない限り、減らすことはできないのかもしれませんが。(臨床研究部長 谷口 清州)

園芸  
活動

## にじいろガーデン ~プランター花壇造り~

花には癒しの効果があるとよく言われますよね。それは花の色・形・香りによるものだと思います。その中でも特に、心と体にとっても作用があると言われる“色”に注目して、今年も2病棟の子どもたちと6年目となる園芸活動“にじいろガーデン”を実施しました。

“気分の落ち込みを抑え、前向きになりたい人”は赤色の花、“素直になって、もっと人と打ち解けたい人”は黄色の花、“心をクリアーにして、清らかな気持ちになりたい人”は白色の花、“イライラを解消したい人”は紫色の花…などと花色がもつ効果を確認しながら、わたし・ぼくにピッタリな花苗がどれかと選びました。



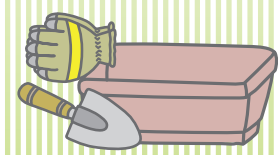
自分たちで選んだ花苗を手に取り、花がもつ美しい色に秘められたパワーを全身で感じながら、1苗ずつ丁寧に優しくプランターに植えて、今秋~来春に向けて色鮮やかに咲き続ける花で賑わう“にじいろガーデン”が完成しました。

是非、私たちの視覚に働きかけ、様々な効果を与えてくれる花を見に、多目的棟中庭にある“にじいろガーデン”へと足を運んでみてください。2病棟の子どもたちが園芸活動を始めた大きな目的の1つである“花のパワーを心身の健康に活かす”ことを、みなさんにもお薦めします。

(保育士 伊藤 真衣)



園芸  
作業  
中



プランター花壇の完成



やまぼとキャラクター  
情報コーナー information

写・真・で・紹・介



みに  
きてね!